

対象児：Hくん 3歳4ヶ月男子

ABA 開始時期：2015年10月～／セラピスト訪問時期：2016年4月～

観察する行動（定義）

動詞の表出（セラピストの「何してる？」の指示に応じて、セラピストの動きを動詞で言い表す）

課題の詳細

対象児は、既に6個のレパトリーがあったが、さらに新たな動詞のレパトリーの獲得を目標とした。

測定方法

「何してる？」という質問と同時にセラピストが動作をして見せ、それに対して初回反応で「〇〇してる」と適切に言い表すことが出来る動詞の数を2週間ごとに測定する。

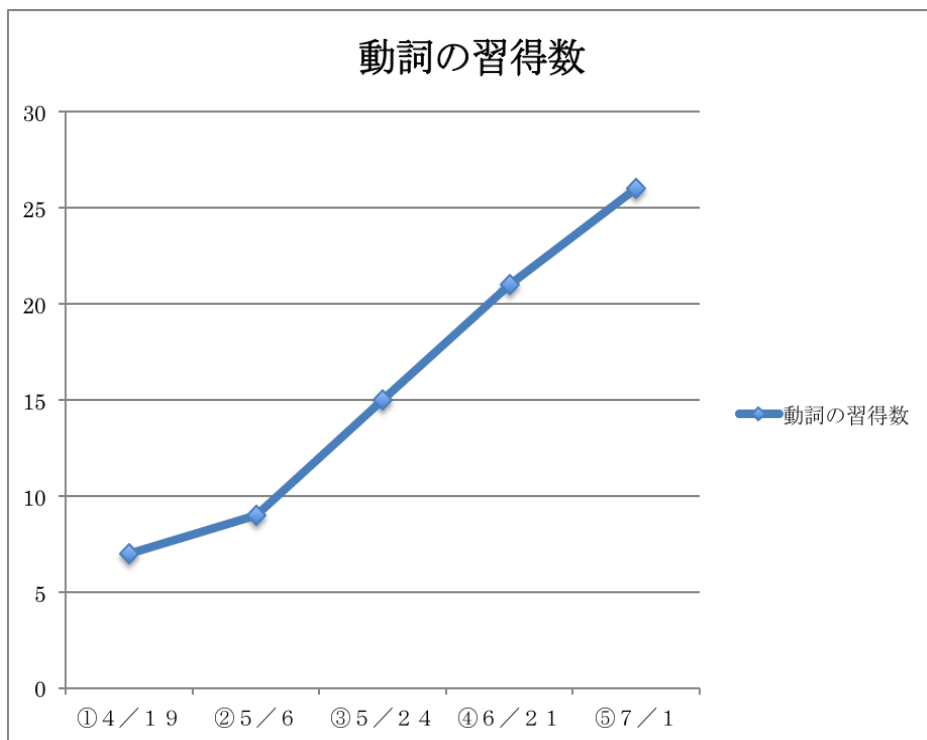
介入方法

例えば対象児に対して「食べて」と指示を出し、その動作をさせた直後に、セラピストが同じ動作をして見せながら「何してる？」と質問する。「食べてる」と言えたら強化。言えなければ、答えをセラピストが言ってプロンプトする。徐々にプロンプトをフェーディング。プロンプトなしで言えるようになったら、事前に指示を出して動作させることをせず、いきなりセラピストが動作を見せ、「何してる？」と聞いて表出を促す。

観察期間

2016年4月19日～7月1日まで

結果（グラフ）



考察

表出を促す前に、対象児童にその指示を出し動作をさせることで、音を模倣しやすく表出にスムーズにつながった。今後も、年齢に合わせて必要な動詞の習得を目指す。